

三条市水道事業ビジョンの達成状況 (令和2年度)

基本方針1 安全で安定した水道水の供給

1 水源の確保・保全・水質管理の徹底

啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は右表のとおりであり、いずれも計画を達成しました。

安全で安定した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水源保全の啓発を行うとともに、水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めます。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
啓発活動等実施回数(回)	2	2	0
水質異常発生回数(回)	0	0	0

2 水道施設の安全管理

水道施設の日常点検を確実にを行い、施設の異常把握に努めました。

基本方針2 災害に対する強靱化の推進

1 水道施設の耐震化

老朽管の更新に併せて管路の耐震化を進めました。実績は右表のとおりであり、関係機関との協議に不測の日数を要したことで繰越工事が発生したため、計画未達となりました。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路の耐震化率(%)	10.7	9.7	△1.0

2 災害時対応の充実・強化

応急給水体制の確保については、前年度に引き続き日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携を含め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施いたしました。

また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕・弥彦総合事務組合、加茂市、田上町、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

基本方針 3 健全な事業運営の持続

1 計画的な施設の更新

管路更新延長は右表のとおりであり、関係機関との協議に不測の日数を要したことで繰越工事が発生したため、計画未達となりました。

浄配水施設の長寿命化については、将来的に企業団からの全量受水を見据え、大崎浄水場の在り方について更に検討を進めてまいります。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路更新延長 (km)	4.3	3.7	△0.6

2 収益の確保

水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を上回りました。引き続き、収納率の向上に努め、未納者に対しては、納入相談等により納付意識の向上に努めてまいります。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
収納率 (%)	98.79	98.83	0.04

3 経営の効率化

経営の効率化の指標については、有収率が計画値を下回りましたが、その他の項目は、目標を達成しました。有収率の減少の主な要因は、給・配水管等の老朽化による漏水などの無効水量や消防用水などの無収水量が対前年比で増加したことと考えております。

今後もコスト削減等による経営の効率化を進めるとともに、漏水箇所の早期発見・早期修繕を実施し、有収率の向上を図ってまいります。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
職員数 (人)	30	28	△2
営業収支比率 (%)	96.70	101.43	4.73
経常収支比率 (%)	98.89	104.90	6.01
有収率 (%)	90.55	89.63	△0.92

基本方針 3 健全な事業運営の持続

4 事業運営体制の強化

外部研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止・延期となり、参加実績はありませんでした。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	0	△6

投資計画と財政収支計画の達成状況 ①投資計画

投資計画

関係機関との協議に不測の日数を要したことで、配水管布設替工事費223,333千円を翌年度に繰り越したため、計画を達成できませんでした。

(千円)

区 分		令和2年度		
		計 画	実 績	計画値との差
更新費用	浄水施設費	15,000	26,336	11,336
	配水管布設替工事費	490,000	253,479	△236,521
		505,000	279,815	△225,185
その他建設費用	配水施設設置工事費	5,000	3,806	△1,194
	配水管布設工事費	30,000	8,029	△21,971
	消火栓施設費	10,000	2,988	△7,012
	固定資産購入費	4,000	1,361	△2,639
		49,000	16,184	△32,816
計		554,000	295,999	△258,001

給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口、年間有収水量とも計画値を若干上回りました。今後も給水人口の減少に伴い、有収水量の減少傾向が続くことが見込まれますので、十分注視してまいります。

区 分	令和2年度		
	計 画	実 績	計画値との差
給水人口(人)	94,685	95,259	574
年間有収水量(千m ³)	11,532	11,898	366

収益的収支

収入については、新型コロナウイルス感染症防止拡大のための在宅勤務等により、料金収入が計画値を上回ったことで、全体として計画値を上回りました。

支出については、令和元年度に廃止した尾崎浄水場取水塔撤去工事を特別損失として支出したものの、三条地域水道用水供給企業団の受水費単価の見直しによる受水費の減額や支払利息の減額等により、全体として計画値を下回りました。

結果として、損益は49,025千円の黒字となり、計画値を上回りました。

(千円)

区 分	令和2年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
収 入	1 営業収益	1,784,570	1,836,620	52,050
	(1) 料金収入	1,757,573	1,808,258	50,685
	(2) その他	26,997	28,362	1,365
	2 営業外収益	103,129	101,926	△1,203
	(1) 他会計繰入金	1,815	2,413	598
	(2) 長期前受金戻入	60,990	58,724	△2,266
	(3) 水道加入金・その他	40,324	40,789	465
	3 特別利益	0	1	1
	計 (A)	1,887,699	1,938,547	50,848
支 出	1 営業費用	1,845,158	1,810,435	△34,723
	(1) 人件費	158,608	155,547	△3,061
	(2) 物件費	1,113,672	1,090,688	△22,984
	(うち受水費)	825,251	781,183	△44,068
	(3) 減価償却費ほか	572,878	564,200	△8,678
	2 営業外費用	63,719	37,434	△26,285
	(1) 支払利息	62,789	37,184	△25,605
	(2) その他	930	250	△680
	3 特別損失	500	41,653	41,153
	計 (B)	1,909,377	1,889,522	△19,855
損益 (A) - (B)	△21,678	49,025	70,703	
利益剰余金残高	1,083,330	1,402,615	319,285	

資本的収支

関係機関との協議に不測の日数を要したことから、建設改良費244,684千円（工事費及び委託料）を翌年度に繰り越したことにより、関連する企業債、工事負担金が減額となり、全体の差引不足額は計画値を上回りました。

また、内部留保資金残高も計画値を上回り、増加傾向にあります。

(千円)

区 分		令和2年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収	1 企業債等	416,000	201,300	△214,700
	2 出資金・補助金	0	0	0
	3 工事負担金・その他	80,467	18,458	△62,009
入	計 (A)	496,467	219,758	△276,709
支	1 建設改良費	636,629	357,121	△279,508
	2 企業債償還金	171,688	171,687	△1
	3 災害復旧債償還金	2,537	2,537	0
出	計 (B)	810,854	531,345	△279,509
差引不足額 (A)－(B)		△314,387	△311,587	2,800
内部留保資金残高		1,936,503	2,224,789	288,286

令和2年度における水道事業ビジョンの総括

主要事業計画に掲げた事業及び数値目標については、概ね計画どおりに実施しましたが、水道施設の耐震化や計画的な施設の更新では関係機関との協議に不測の日数を要したことから翌年度繰越が発生したため、計画を達成することができませんでした。

経営状況については、給水人口が年々減少していますが、給水人口及び年間有収水量とも計画値を上回りました。

また、収益的収支の損益（純利益）では、計画値を上回ったことから、概ね良好な事業運営ができました。

引き続き、「水道事業ビジョン」で設定した基本理念及び基本方針に基づき、定員適正化等による徹底したコストの削減、漏水防止対策による有収率の向上、老朽配水管等の計画的な更新、施設の長寿命化等に取り組み、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。